

「未来からの留学生」を成功させよう！！

代表者 楠 依子 （教育学研究科2年）

1. 目的と概要

未来からの留学生は休日にキャンパスを開放し、「未来からの留学生」として講座に参加する幼児・児童・生徒に、大学という「学び」の場において学習や研究活動を体験してもらう行事である。2002年に始まり、近年では地域の行事として定着し、毎年1000人を超える子どもたちが香川大学に來訪する。学生はいままでモノを作ったり、身体を動かしたり、講義や実験を体験したりする講座を教育学部の教員と協力しながら企画運営してきた。参加方法は、主に教室単位やサークル単位で講座を開設するという形で行い企画・参加者のボランティア精神がイベントを支えている。

今までの反省として、各講座の学生同士が講座の連携や情報交換できていないということが問題になっていた。そこで今回、地域貢献事業である「未来からの留学生」にて参加学生の学生ボランティア組織を設立し、会の成功に資することを目的に活動を行った。実施したのは

- 1) 未来からの留学生運営のための組織づくり
- 2) ポスター・キャラクターグッズの作成
- 3) 香川大学博物館とのコラボレーション講座実施

の3つの活動である。

2. 実施期間（実施日）

実施期間は平成21年4月から平成21年10月末までとした。実施項目の概要を以下に示す。

- 4月15日：担当者決定・学生ボランティアの募集
- 5月末：講座内容の確定
- 6月17日：第1回全体会議
- 6月末：応募用パンフレット、ポスター等の作成
- 7月～8月初旬：ポスター掲示、オープンキャンパスでのパンフレット配付
- 8月中旬：パンフレットの発送
- 9月14日：応募締切
- 9月16日：第1回学生集会・缶バッジ作成
- 10月7日：第2回全体会議
- 10月10日：見回り、ポスター・看板掲示

10月11日：未来からの留学生当日

10月27日：反省会

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業は、地域貢献事業である。学生ボランティアの活動として、未来からの留学生に参加している学生同士でそれぞれの教室やサークルがどんな活動をしているか集会を開いて意見交換を行い、ポスターやパンフレット作成など広報活動に生かすとともに、当日行う活動に協力したり、安全に子どもたちに遊んでもらったり、保護者に楽しんでもらったりできるよう準備を進めたいと考えた。学生が子どもたちと関わることで大学のことをもっと地域の方々に周知し、将来教師になるとき、協力し合える仲間ができること、講座の様子から他の領域活動ことを理解するためのいい機会になると考えた。

学生ボランティアの募集は掲示と、学務係に依頼してダイレクトメールによって行った。最終的に私達2名と講座関連の学生15名、1年生を中心としたスタッフ13名、ポスター・キャラクターグッズ作成3名、博物館コラボレーション企画スタッフ4名の37名で運営することになった。6月の全体会議では、学生ボランティアの活動についての紹介を行った。ポスターは6月末から美術領域の2年生に依頼した。9月16日には学生集会を開き、各講座の去年までの様子、現在の進行状況、今年の講座を担当する人数などを情報交換した。9月には他にもキャップの作成、缶バッジの作成等を行った。10月7日には第2回目の全体会議で準備状況の最終確認や名簿確認、10月10日には会場の見回りを行ってスタッフ待機位置などを把握し、当日の動きの確認をした。

表1 当日の警備分担表

	楠	筒井	小川	片岡	松川	西本	西川	西山	三宅	岩倉	岡本	片山	上田	政田	大森
8:00-8:05	集合、ミーティング		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8:05-8:30	ポスター貼り		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8:30-9:30	子どもたちの誘導														
9:30-10:10		A	A	B	B	C	C	D	D	E	E	G	G	G	G
10:10-10:50		G	G	G	C	C	D	D	F	F	A	A	B	B	B
10:50-11:30		G	G	E	F	G	お昼ごはん				A	B	C	D	
11:30-12:10		E	F	G	G	G	A	B	C	D	お昼ごはん				
12:10-12:50		お昼ごはん					C	D	E	F	G	G	A	B	
12:50-13:30		F	G	D	E	A					B	C	G	G	
13:30-14:10		A	B	C	D	E	F	G	G	G					
14:10-14:50							G	A	B	C	D	E	F	G	
14:50-16:00	ポスター回収、ゴミ拾い	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

11日の警備の担当表を表1に示した。当日は8:00に集合して役割の確認を行い、受付の設営の手伝いや、ポスターを大学の周囲に掲示したのち、子どもたちの誘導、講座のヘルプなど各自の役割分担表に従って活動した。受付周辺で、講座の案内を行い、目立つように学生ボランティアスタッフは蛍光緑のキャップを着用した。案内する講座案内のボードを準備し、北門(A)、3、4号館間1F-3F(B~D)、研究交流棟前(E)、東門前(F)、受付(G)に分かれて担当した。

今年の未来からの留学生は東北大学加齢医学研究所の高井俊行先生のアレルギーのしくみ、免疫の不思議、財団法人気象予測支援センターの村山貢司先生の気象の不思議という2つの特別講演が実施された。例年はポスターしか作成していないが、今年は特別講演の広報を充実させたいということで、特別講演の案内用のチラシも美術領域2回生の学生がデザインを担当した。

また、昨年デザインした未来からの留学生キャラクターである「みらいちゃん」をあしらった缶バッジも作成した。子供用の青地に顔をあしらった32mm直径の缶バッジを800個、みんなで会を盛り上げるためにスタッフ用のピンク地に全身像のみらいちゃんをあしらった57mmの缶バッジを300個作成した。(図1)

2008年4月にオープンした博物館とのコラボレーション講座は、昨年度は248人の子どもたちが博物館に来館した。しかし、今年度は博物館学芸員の方が10月から退職された関係で当日に開館するのではなく展示物を借りて331教室で実施することにした。動く展示を見せたいということで、不揮発性、不燃性等、様々な優れた性質を持つイオン液体といま注目の機能性物質である磁性流体の特徴を併せ持つ磁性イオン液体を作成し、1) 未来型教材を開発、2) 「未来からの留学生」で公開し、3) 改良を重ね、博物館に体験できる展示物を作ることを計画した。博物館展示パネルを用いて博物館の紹介を行い、足跡の化石、けいかぼく、ナウマン象の骨などを展示した。また、体験型展示物作成のために改良をする際、データをとるためのアンケートも実施した。展示に対してはおおむね好印象であり、自由記述には普段体験できないことができてよかった、博物館をゆっくり見たいといった感想があった。



図1 缶バッジデザイン

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

本事業は地域貢献事業を成功させるための一助とするために計画した事業であり、地域に根ざした活動で、子どもたちや、その保護者は、毎年この行事を大変楽しみにしており、リピーターが多いこともよくわかった。地域に根ざした香川大学のよいアピールができ、普段入って自由に遊ぶことのできない大学に子どもたちが集まり、楽しんでもらうことにより、香川大学をより身近に感じてもらえたことと思う。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

それぞれ、講座で担当してきた未来からの留学生を学生自身が企画段階から参加できたこと、1年生が、たくさん集まり、来年も担当したいという希望を持ってくれたことで、来年につづく活動ができたことを自負している。他領域の学生と意見交換ができ、6年間の学生生活の最後の年に学生代表として行事に参加し、行事の成功に貢献できた経験を積むことができ、会の成功だけではなく自分自身にとっても自信が付き大変有意義だった。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

誘導、案内の1年生ボランティアは、困った人を助けることができた、頼ってくれる人がたくさんいたので、警備や誘導は大切な仕事だと思ったなど、やりがいを感じていること、子どもと触れ合うことができたし、学生の友達もできて楽しかったなど、一定の成果が得られことがうかがえた。当日はけがなどの事故は今年も報告はなかったが、迷子がでたため終了が予定より遅くなったこと、飲み物をとる時間などがなかったためスタッフの健康面での配慮が今後の検討課題に挙げられる。また、今年ボランティア経験がある人が来年助言できる機会を是非設けたい。キャラクターグッズは好評で57mm 缶バッジはスタッフに配る数もないほどだった。また、参加者全員に配る予定だった32mmの缶バッジは児童には全員配ることが出来たが、参加の保護者には十分配付できず、受付を通ってもらう工夫を含めて配付する方法の改善が必要だと感じた。博物館とのコラボレーションは、好評ではあったが、さらなる工夫が必要であること、また、博物館の紹介をもっと効率よくできるように連携を深める必要があると感じている。

7. 実施メンバー

代表者	楠 依子（教育学研究科2年）	
構成員	筒井 菜月（教育学部4年）	岩倉 里華（教育学部1年）
	高木由美子（教育学部教員）	上田 奈々（教育学部1年）
	小方 朋子（教育学部教員）	大森 美希（教育学部1年）
	岡田 知也（教育学部教員）	岡本 美紅（教育学部1年）
	小川 翔子（教育学部1年）	片岡 裕美（教育学部1年）
	片山 早紀（教育学部1年）	西川 亜衣（教育学部1年）
	西本 早希（教育学部1年）	西山 千秋（教育学部1年）
	二宮真理子（教育学部2年）	政田 彩香（教育学部1年）
	松川 知里（教育学部1年）	美馬 千里（教育学部2年）
	延時 樹（教育学部3年）	田岡亜希子（教育学部3年）
	鈴木 貴也（教育学部3年）	神野 翔一（教育学部2年）
	滝河 真理（教育学部3年）	左海 亮（教育学部3年）
	國安 真輔（教育学部3年）	大森 敦美（教育学部2年）
	志食 陽平（教育学部2年）	白川 綾香（教育学部2年）
	石原 弘章（教育学研究科2年）	杭谷 拓（教育学部2年）
	阿部 由実（教育学部2年）	賀家 祐輔（教育学部2年）

吉田 萌 (教育学部 4 年)
山下 修平 (教育学部 4 年)
沼野 礼香 (教育学部 2 年)
和田美沙子 (教育学部 3 年)
石本祐里香 (教育学部 3 年)
和泉 陽子 (教育学部 4 年)
山崎 寛子 (教育学部 4 年)
武安 智美 (教育学部 3 年)

相原なつみ (教育学部 4 年)
清家 弘介 (教育学部 2 年)
松川 知佳 (教育学部 3 年)
光成麻里子 (教育学部 3 年)
須崎 徳馬 (教育学部 2 年)
難波 友依 (教育学部 4 年)
井原 冴香 (教育学部 3 年)
三宅 夏穂 (教育学部 1 年)